



【スピード少年女子2000メートルリレー決勝】3走からバトンを受け取る4走・長根(八学光星高) 群馬県高崎健康福祉大学伊香保リンク



2位を獲得し、賞状を手笑顔を見せる本県少年女子リレーチーム(長根)ら時計回りに

# 本県少年女子2位 リレー

## スケート 岡山 伊香保 第79回 国スポ 第4日

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は4日の29日、群馬県渋川市でスピード、岡山県倉敷市でフィギュアの各競技を行った。県勢はスピード少年女子2000メートルリレーで、今大会初の表

## チームワークで好走

チームワークと気迫の滑りで、少年女子2000メートルリレーの本県チームが2年連続の表彰台に立った。昨年の3位を上回る2位の成績に、佐々木監督は「100点の素晴らしい滑り。みな普段以上の力を発揮してくれた」と評価した。

1走・上田(八学光星高)は強豪・北海道の後ろにつく好スタートを切ったが、2走・木村(八戸東高)は「2位をキープしなければ」と気持ちにはやり、上田とのバトンのタイミングがずれなかった。それでも2位を維持してミスなく3走・吉田(八戸高)へつなぎ、さらに後方との差を広げてアンカー長根(八学光星高)にバトンを託した。

2位争いは3チームによる混戦となったが「長根は後半から伸びるタイプ。追い抜かれるとは思っていなかった」と吉田。

最後の直線の手前で後方から他県の選手が迫るのを感じた長根は「3人がつくってくれた差を縮められたくない」とラストスパートをかけ、声援を背にゴールラインを駆け抜けた。

吉田を除く3人は1年生のため、来年の地元国スポでもリレーメンバーに選ばれる可能性がある。来年は出場しないと吉田は「2位は好成績だけど、後輩たちにもっと上を目指してほしい」と激励し、3人は来年も良い順位を取れるように頑張るとリレーや個人種目でのさらなる躍進を誓った。

(中村篤希)

少年女子1000メートルの上田千聖(八学光星高)は、渡辺倫果(法人)が8位7位に入った。フィギュアは成年女子シヨートプが18位で、ともにフリー(棟方好華、中村篤希)進出を決めた。大会5日の30日は、フィギュア成年女子フリーを行う。